

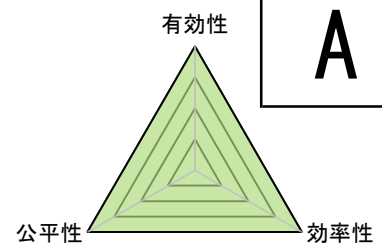

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費

目 01財政調整基金積立金

事務事業番号 12020101

事業名		財政調整基金積立金		担当部署	財政部 財政課			
根拠法令		地方自治法第241条、苫小牧市財政調整基金条例						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性 公平性 効率性 	総合評価 A		
	予算・決算額(A)	1,214,441	1,214,068	9,688				
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	6,924	8,107			9,688	
	一般財源	1,207,517	1,205,961					
	人件費(B)	36	36	36				
事業費計(A+B)	1,214,477	1,214,104	9,724					
事業の目的	財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積立てます。							
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>令和5年度末基金残高 4,416,451,196円</p> <p>令和6年度基金積立金 1,214,067,944円</p> <p>令和6年度基金取崩し額 1,691,018,220円</p> <p>令和6年度末基金残高 3,939,500,920円</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	基金の年度末残高		千円	3,642,896	4,416,452	3,939,501		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						財政運営持続化計画のもと、標準財政規模の5%以上（約20億円以上）の残高を維持しており、財政の健全な運営を図っています。
	効率性	●						基金管理として適当な人工で目的が達成されています。
公平性	●				特定の受益者を対象とした事業ではありません。			
事業の課題 今後の方向性	将来の財政需要に備えて、基金残高を確保していく必要があります。					事業終了の 予定の有無 無		
特記事項								

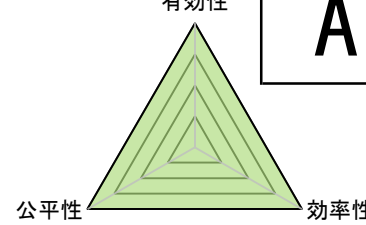

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費

目 02減債基金積立金

事務事業番号 12020201

事業名		減債基金積立金		担当部署	財政部 財政課			
根拠法令		地方自治法第241条、苫小牧市減債基金条例						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性 公平性 効率性 	総合評価 A		
	予算・決算額(A)	121,524	121,117	5,282				
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他	21,524	21,117			5,282	
		一般財源	100,000	100,000				
	人件費(B)	36	36	36				
事業費計(A+B)	121,560	121,153	5,318					
事業の目的	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積立てます。							
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>令和5年度末基金残高 3,490,794,001円</p> <p>令和6年度基金積立金 121,117,247円</p> <p>令和6年度基金取崩し額 100,000,000円</p> <p>令和6年度末基金残高 3,511,911,248円</p>							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	基金の年度末残高		千円	2,875,541	3,490,794	3,511,911		
項目評価	高 → 低				評価の理由			
	4	3	2	1				
	有効性	●						令和6年度末の基金残高は令和5年度末と比較し増加しており、将来への備えとして事業の目的を達成しています。
	効率性	●						基金管理として適当な人工で目的が達成されています。
公平性	●				特定の受益者を対象とした事業ではありません。			
事業の課題 今後の方向性	今後も市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営を図ってまいります。					事業終了の 予定の有無 無		
特記事項								

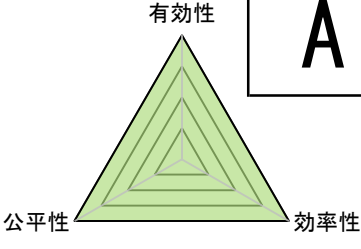

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費

目 03公共施設整備基金積立金

事務事業番号 12020301

事業名		公共施設整備基金積立金		担当部署	財政部 財政課		
根拠法令		地方自治法第241条、苫小牧市公共施設整備基金条例					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	11,352	11,191	4,032		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	11,352	11,191			4,032
		一般財源					
	人件費(B)	36	36	36			
事業費計(A+B)	11,388	11,227	4,068				
事業の目的	施設の整備に要する経費の財源に充てるため、予算で定める額を基金に積立てます。						
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>令和5年度末基金残高 2,911,878,104円 令和6年度基金積立金 11,190,549円 令和6年度基金取崩し額 143,429,120円 令和6年度末基金残高 2,779,639,533円</p>						
実施結果 (活動指標)	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	基金の年度末残高	千円	2,393,165	2,911,878	2,779,640		
項目評価	高 → 低	評価の理由					
	4 3 2 1						
有効性	●	施設整備に要する経費の財源として活用し、基金残高は前年と同規模となっており、財政運営持続化計画に定める基金残高は維持しており、将来への備えとして事業の目的を達成しています。					
効率性	●	基金管理として適当な人工で目的が達成されています。					
公平性	●	特定の受益者を対象とした事業ではありません。					
事業の課題 今後の方向性	今後も公共施設の更新や整備に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営を図ってまいります。				事業終了の 予定の有無		
					無		
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

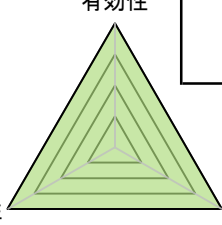

款 12諸支出金

項 02基金費

目 04総合戦略推進基金積立金

事務事業番号

12020401

事業名		総合戦略推進基金積立金		担当部署	総合政策部 政策推進課				
根拠法令		苫小牧市総合戦略推進基金条例							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	623,138	479,415	676,718				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他	623,138	479,415					676,718
		一般財源							
	人件費(B)	360	360	360					
事業費計(A+B)	623,498	479,775	677,078						
事業の目的	まち・ひと・しごと創生法第10条の規定により定める苫小牧市総合戦略の推進に要する経費の財源に充てるため基金を設置しています。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>令和5年度末基金残高 962,221,069円 令和6年度基金積立金 479,414,947円 令和6年度基金取崩し額 705,468,120円 令和6年度末基金残高 736,167,896円</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	基金の年度末残高		千円	840,760	962,222	736,168			
項目評価	高 → 低				評価の理由				
	4	3	2	1					
	有効性	●						総合戦略に掲げる事業費に充当する基金を確保することができたため「4」としました。	
	効率性	●						最小限の費用で、効率的な運用ができたため「4」としました。	
公平性	●				寄附金を、寄附者が指定した使い道に充当することができたため「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	今後も基金の適切な管理に努めるとともに、総合戦略推進に向けて継続的に実施していきます。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

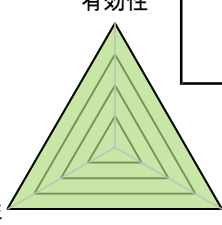

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 03諸費

目 03備荒資金組合納付金

事務事業番号 12030301

事業名		備荒資金組合納付金		担当部署	財政部 財政課				
根拠法令		地方財政法第八条							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	134,000	134,000	-				<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	134,000	134,000					
	人件費(B)	36	36	-					
事業費計(A+B)	134,036	134,036	-						
事業の目的	災害による減収、および災害応急復旧事業その他災害に伴う費用に充てるために、雪氷対策費の不用額を積立てます。								
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>令和5年度末備荒資金残高 1,121,117,853円 令和6年度備荒資金積立金 134,000,000円 令和6年度備荒資金取崩し額 0円 令和6年度末備荒資金残高 1,255,117,853円</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
	備荒資金の年度末残高		千円	1,024,537	1,121,118	1,255,118			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
	有効性	●			財政運営持続化計画に定める残高を維持しており、将来への備えとして事業の目的を達成しています。				
	効率性	●			資金管理として適当な人工で目的が達成されています。				
公平性	●			特定の受益者を対象とした事業ではありません。					
事業の課題 今後の方向性	今後も災害に備えることに必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営を図ってまいります。					事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									